

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 9 月 24 日
枚方市立山田小学校

文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

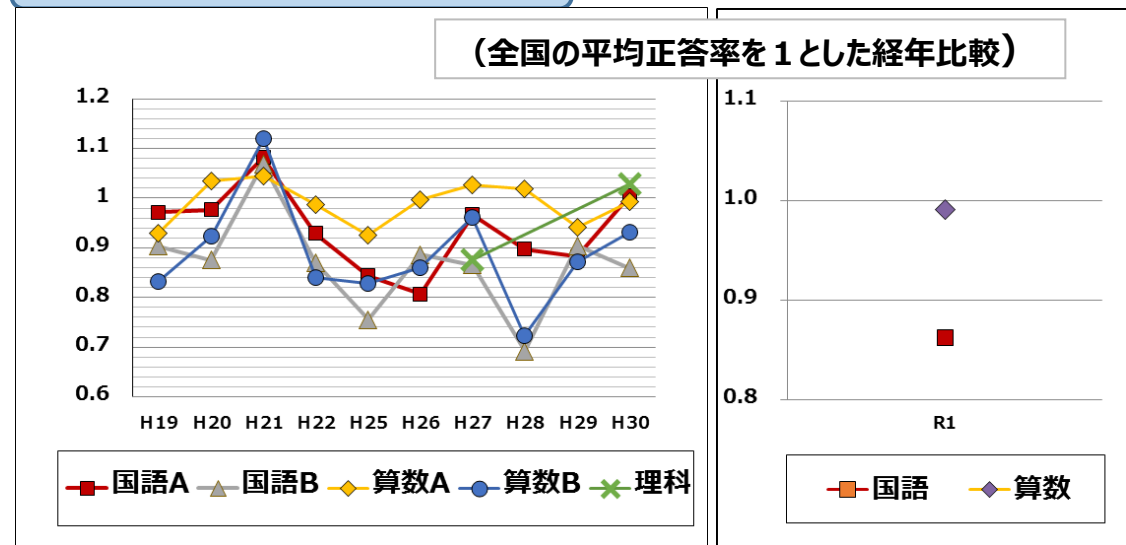
【全体概要】

学力調査の結果

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

平均正答率経年比較（対全国比）



< 学力調査結果の概要 >

- 国語について
→ 「書くこと」に一定の成果があったが、「話すこと・聞くこと」に課題が見られた。
- 算数について
→ 「量と測定」と「図形」に一定の成果があった。

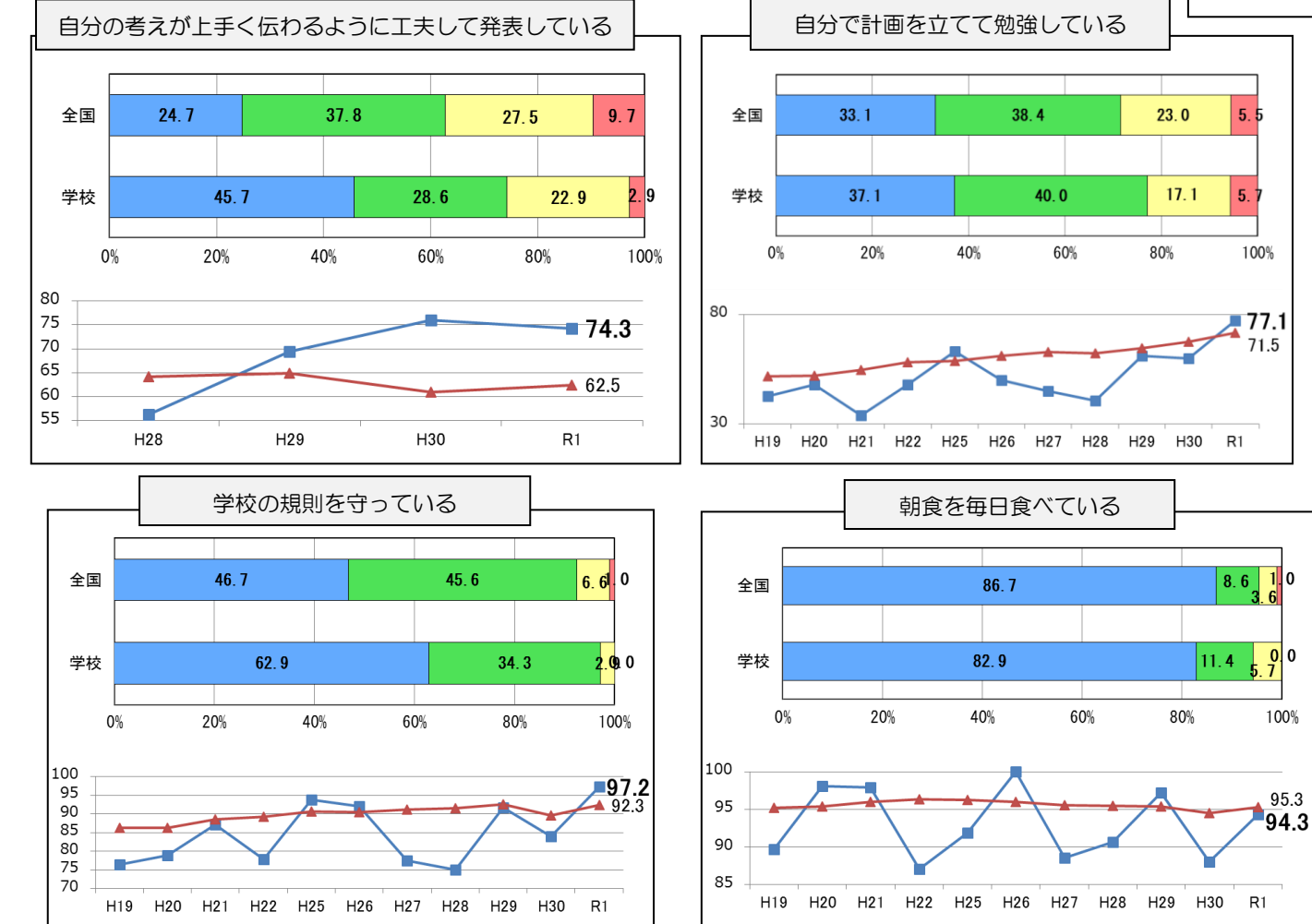
※本調査は、平成 19 年度から実施されています。
※平成 23 年度は中止（東日本大震災）、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合があります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国
■ 本校



< 質問紙調査結果の概要 >

- 授業改善について
→ 「自分の考えを説明し伝え合う力」の育成を目指して授業改善を進めているが、「考えが伝わるように工夫している」児童が増えている。
- 家庭学習について
→ 「自分で計画を立てて学習する」児童は増えているが、学習時間は十分とは言えない。
- 学習規律について
→ きまり・規則を守る児童が増え、中宮中学校区で取組んでいる学習規律の定着が見られる。
- 生活習慣について
→ 毎日朝食を食べる児童が増え、起床・就寝時間など規則正しい生活習慣が身につくつつある。

まとめ

算数や国語の書く力については一定の成果を見ることができました。これは、算数の少人数指導などの指導方法の工夫や、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた、『主体的・対話的で深い学びのある』授業の実現に向けて、授業研究やその成果を生かした日々の授業実践の成果であると考えます。また、自ら計画を立てて学習する自学自習力をつけるため、自主学习ノート等を活用した家庭学習の定着を図る必要があります。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

教科に関する調査

【詳細について】

<国語> 成果や課題があった設問

【成果】

図表やグラフなどを用いた目的を捉える

1 高橋さんの手紙では、生活の中心がなくなったことを嘆き、友達に集まることについて「お誘いありがとうございます。これ以上よく読んで、あの頃に戻りたいです」と書いています。この手紙をよみました。この手紙の内容について、正しいものをすべて選びなさい。

1 はじめに、高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

2 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

3 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

4 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

5 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

（資料1） 公共電話の設置場所を知らせる地図

（資料2） 公共電話の設置場所を知らせる地図

（資料3） 公共電話の設置場所を知らせる地図

（考察）
図やグラフなどを用いた目的を捉えることについて、正答率が8割と全国（7割）と比べても高く、成果が見られた。

<国語> 成果や課題があった設問

【成果】

図表やグラフなどを用いた目的を捉える

1 わが町の道に、公共電話の設置場所を知らせる地図があります。この地図をよみました。この地図の内容について、正しいものをすべて選びなさい。

1 はじめに、高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

2 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

3 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

4 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

5 高橋さんは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。これは、友達に集まることについて、お誘いありがとうございます。と書いています。

（資料1） わが町の道に、公共電話の設置場所を知らせる地図

（資料2） 公共電話の設置場所を知らせる地図

（資料3） 公共電話の設置場所を知らせる地図

（考察）
話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめるという記述式の問題について、正答率が大変低く、無答率も高いことから、課題が見られた。

<算数>

成果や課題があった設問

図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる

【成果】

1 下の図のような長方形の紙（1）があります。方眼紙は、1目もり1cmです。

（1）

（2） ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。

上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。どのような形をつくりことができますか。下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

（考察）
「2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくりことができる」問題について、正答率が7割と全国（6割）と比べても高く、成果が見られた。

【課題】

加法と乗法の混同した整数と小数の計算

2 かいとさんは、水を大切に使うのかどうかを知りたいと思い、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べました。かいとさんは、グラフ1を見つけた。

（4） さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのかが気になり、洗濯と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】
 $6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$

【かいとさんが考えた式】の、㊦に入る数を書きましょう。

（考察）
加法と乗法の混同した整数と小数の計算の正答率が、大変低く、計算の順序が理解できていないなどの課題が見られた。

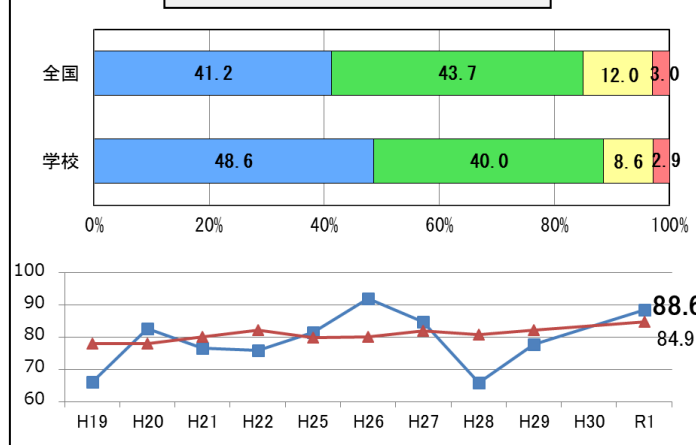
質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

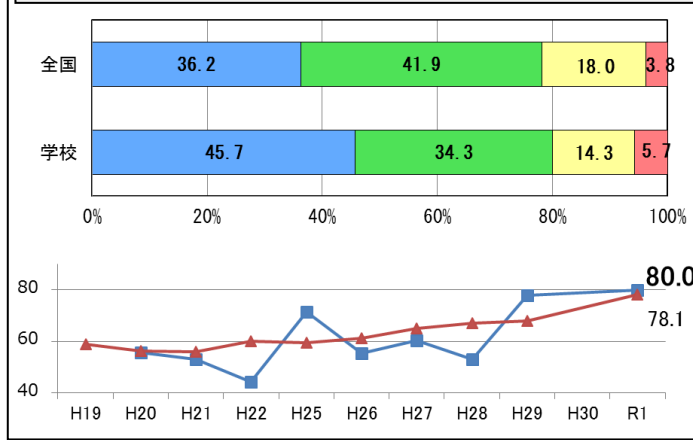
▲ 全国
 ■ 本校

【成果のあった項目】

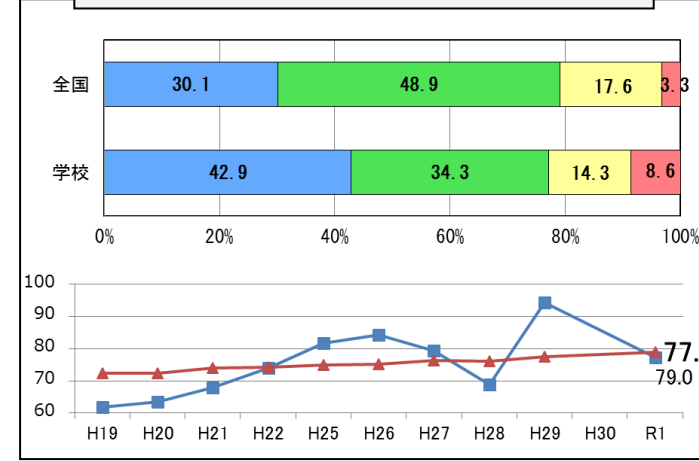
国語の授業の内容はよく分かる



国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している



(考察)
 自己肯定感について、否定的な回答が高く、また、夢や難しいことに挑戦する気持ちについても低下している。
 道徳教育や人権教育などを中心に、豊かな心を育む教育を再構築し進めていく必要がある。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

「学びに向かう力」を育むため、基礎学力の定着を基本とし、「ことばの力」を高め豊かな表現力を育成する授業づくりを目指しています。どの教科においても、「自分の考えを説明する力」、「伝え合う力」、「自分の考えを文章で書き表す力」をつけるための授業計画を作成しています。

国語については、以下の4つに取り組んでいます。

- ①自分の考えを説明できるように、考えたことを相手に伝えたり、考えの根拠を述べたりする場面を多く設定している。
- ②自分の考えを文章で書き表すことができるように、授業の振り返りや、様々な場面で文章を書く取り組み、ワークシートの工夫を継続して行っている。
- ③読みとる力を育てるため、教室に教科と関連する本の設置、読書カードの活用、ボランティアの方による読み聞かせ等、読書活動の推進を図っている。
- ④国語科にとどまらず、どの教科でも1時間の授業で学んだことを自分の言葉で書く、ふりかえりの充実を図っている。

算数については、以下の3つに取り組んでいます。

- ①授業はじめの計算プリントを繰り返すことにより基礎計算力の定着を図っている。
- ②問題解決型の授業を基本とし、自分たちで解き方などを見つけていく課題設定をしている。
- ③月末に長文問題の小テストを実施し、解答状況を確認して日々の授業に生かしている。

(2) 学習規律について

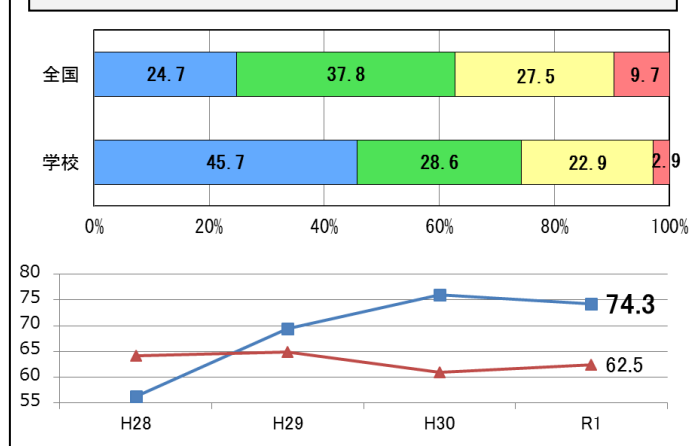
校区として3小学校が新中学1年生の新学期を同じ学習規律でスタートできるように、「中宮中学校区の学習規律」の定着に向けて取り組んでいる。チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席するよう促し、授業のはじめやおわりのあいさつについてもしっかり行うよう指導を行っています。

(3) 家庭学習について

規則正しい生活習慣や学習習慣が身に付くように、家庭と協力し「生活習慣振り返りカード」と「家庭学習の手引き」を活用し、学校では毎日の宿題の確認、自学ノートの好事例の紹介、放課後自習教室利用の促進、自学自習プリントの持ち帰りの声かけ等を行っています。

「生活習慣」と「学力」には相関関係があることから、保護者の皆さまによる家庭における生活習慣・学習習慣の確立に向けてのご協力をよろしくお願いいたします。

自分の考えが上手く伝わるように工夫して発表している



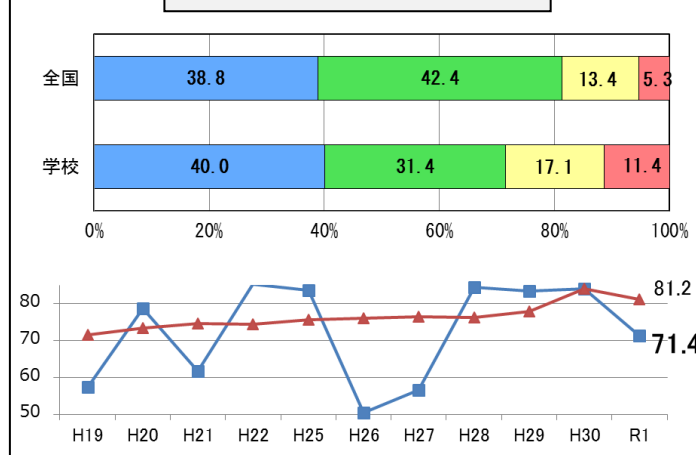
(考察)

学びに向かう力を育む授業づくりを目指し、『主体的・対話的で深い学びのある』授業の実現に向けて、国語科の授業研究に取組み2年目を向かえ、その成果を生かし日々授業実践を行っている。

その中で、「自分の考えを説明し伝え合う力」の育成を目指して授業改善を進めており、「考えが伝わるように工夫している」児童が増えているなど、その成果が少しずつ現れている。

【課題が残った項目】

自分には、よいところがある



将来の夢や目標を持っている

